

情報連絡員報告総括表(令和5年12月期)

富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	醤油・味噌製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格高騰によって個人消費が低調である中、インバウンドなどによる観光や宿泊需要が好調に推移し、外食産業も非常に好調であるため、味噌醤油業界は、どの業態の取引先を販売先に持っているかによって、二極化が鮮明になってきている。</li> <li>・人手不足は引き続き半数超の企業で見られる。</li> <li>・食品の値上げが続いたことにより、個人消費の弱さを感じている。</li> </ul>
	パン製造業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料価格の値上がりが続いている。</li> <li>・1月に入り能登半島地震が発生したため、県内企業の取引相手に対して売上が減少している。消費者行動も静かで、スーパー等の量販店に関してもダメージがある。</li> </ul>
	豆腐製造業	↗	↗	↗	→	→	↘	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上は前年同月比102%となっている。</li> <li>・依然として原材料高は変わらず、収益について伸び悩んでいる。</li> </ul>
繊維工業	ニット製造業	↗	→	↗	→	↗	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車関連は堅調だが、車メーカーの不正問題の影響が懸念される。</li> <li>・人員確保が課題である。</li> <li>・資材やエネルギー価格の高止まり、物流問題など、先行きは不透明な状況である。</li> </ul>
	絹人織織物製造業	↘	↗	→	→	↘	↘	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化合繊維物や絹織物ともに、売上は前月より減少している。前年同月比でも売上は減少しており、材料や資材の値上がり、労務費の上昇によって収益が悪化している。</li> </ul>
	綿・スフ織物業	→	→	→	→	↘	→	↘	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注は横ばいである。</li> <li>・諸経費の高騰が続いているため、収益状況は悪化している。</li> </ul>
木材・木製品	一般製材業	↘	→	→	→	→	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新設住宅着工戸数について、3ヵ月ぶりに前年同月比9.9%増となっている。</li> <li>・県産材、ロシア材とも入荷は低調である。需要の回復は見込めず客足の悪い状態が続いているため、木材関連事業者は引き続き厳しい経営環境にある。</li> <li>・県産材素材や米材関係の木材製品価格は、値上がり傾向にある。</li> <li>・県西部の木材産業事業者を中心に能登半島地震による被害が発生しており、災害状況の確認を急いでいる。</li> </ul>
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>



業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
鉄鋼・金属	銑鉄鑄物業	↘	→	↗	→	↘	↘	↘	→	↘	・全体的(建設機械、工作機械及び半導体関連)に受注が減少している。 ・先行きの不透明感が強く、厳しい状況が続くと考えられる。
	銅・同合金鑄物製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	アルミニウム製品製造業	↘	→	↗	→	↘	↘	→	→	→	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	↗	↗	→	→	→	↗	・鉄工業製造部門は、前年同月に比べて経営実態が好転している。 ・材料費の高騰、溶接作業に伴う電気代の高騰、製品運搬費の高騰、物価高による賃上げの動き、価格転嫁など、諸課題が山積している状況である。 ・受注はあるが新規採用者がいないため、生産量の確保に苦戦している。
	めっき加工業	↗	→	↗	→	↗	→	↘	↗	→	・販売単価の上昇によって、売上高の前年同月比は増加している。また、収益状況の前年同月比も好転している。
一般機器	金属工作機械製造業	↘	→	→	↘	↘	→	→	→	↘	・受注状況は前年同月比86.07%となっている。前月比は全部門で増加しているものの、前年同月比では回復しておらず、見通しも厳しい状況が続いている。 ・中国経済悪化が影響して、業界全体が厳しい現状である。
	金属加工機械製造業	↘	→	→	↘	↘	↘	↘	→	↘	・自動車関連は好調だが、それ以外は全体的に低迷している。
	非金属用金型製造業	→	→	↘	→	↘	→	→	→	→	・事業環境の移り変わりが一層激しさを増す中、大手自動車メーカーの不正問題、中国経済の停滞減速感、政界情勢の不安定さがどう影響するのか全く予測不能なため、長期計画を描くことは難しい状況である。 ・設備更新は、性能に応じて高額となるため、償却期間を見据えた高い経営リスクを伴う判断が求められる。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	↘	↗	→	→	↘	→	→	→	→	・需要がモノからサービスに変わっており、受注が伸び悩んでいる。 ・新製品の引き合いが徐々に増加している。 ・収益面の悪化傾向が続いている。 ・引き続き若手社員が不足している。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	↗	→	↗	→	↗	→	↗	↘	→	・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・需要面に回復傾向が見られる。 ・春に向けて、首都圏で開催される展示会の売上に期待している。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	セメント卸売業	↘	→	↗	→	↘	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設需要の低迷により、袋セメント組合取り扱い出荷数量は、組合設立以来、4ヵ月連続で最低量となっている。メーカーの強硬値上げにより、私製袋(ホームセンターなどで販売されている廉価品)との値差が更に開いたことも大きな原因である。</li> <li>・抜本的な問題が解決しない限り、今後も組合扱い数量が減少していく見込みである。</li> </ul>
	非鉄金属製品卸売業	↘	↗	↗	↘	↘	↘		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高は全体的に前年を下回っている。</li> <li>・能登半島地震の発生によって、商品の破損、ガラスケースの損壊、外壁崩れなどの損害が出ている。</li> </ul>
小売業	鮮魚小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、横ばい傾向である。</li> </ul>
	食肉小売業	→	→	↗	→	↗	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の購買意欲は旺盛で、より上質な商品を求める傾向があり、高単価な状況である。</li> <li>・価格転嫁が出来ている会社は収益改善に繋がっているようだが、この傾向が続くかは疑問が残る。</li> </ul>
	野菜・果実小売業	↘	→	↗	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山卸売市場全体の売上高は、前年同月比93%となっている。</li> <li>・青果組合全体の売上高は、前年同月比92%となっている。</li> <li>・能登半島地震の発生により、県内170組合員のうち、約70組合員が何らかの被害を受けている。被害内容は、家屋の天井落下、クロスや壁の剥がれ、家屋の傾斜、店舗周りの道路液状化による砂泥被害、冷蔵庫や棚からの商品落下、店内の片付けや店舗内地割れによる休業、断水や井戸水の濁りなどである。</li> </ul>
	家庭用電気機器小売業	↗	↘	→	→	↘	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンやエコキュート等の高額商品の売上が多くなっている。</li> </ul>
	自動車小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
	ガソリンステーション	→	→	↗	↘	↘	↘		↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンニュートラルの進展に伴うガソリン等の需要減に加えて、大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制などSSの経営環境は厳しさを増している。</li> <li>・降雪による一時的な需要はあったものの、物価高による個人消費の抑制から需要の回復感は弱く、ガソリン販売量は、先月に続き前年を割り込み減販が続く見込みである。</li> <li>・販売価格については、レギュラーガソリン、ハイオクガソリン、軽油それぞれ前年同月と比較すると8円～9円高い状況である。</li> </ul>
	農機具小売業	↘	→	→	→	↘	→		↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暖冬予報の影響で、除雪関連商品の売行きが悪くなっている。</li> </ul>
	ショッピングセンター	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年同月比で売上は101.7%、客数は100.5%と前年を上回っている。</li> <li>・食品の売上は好調だが、衣料は伸び悩み状態である。</li> </ul>
	ショッピングセンター	→	→	↗	↘	↘	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト高に加えて、更なる節約志向の強まりが景況感を悪化させている。</li> <li>・能登半島地震の影響が懸念される。</li> </ul>

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
商店街	商店街	→	→	↗	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪やインフルエンザの流行が、客足に影響を与えているようである。</li> <li>・冬のボーナス増加が消費に結びつくことを期待しているものの、富山県は車関連産業が多いため、車メーカーの不祥事の影響によって、冬の購買力に影響を及ぼしそうである。</li> </ul>
	商店街	↗	↗	↗	↗	↗	→		→	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物販関係は前年同月より売上は良くないが、飲食関係は忘年会等が活発に開催されたことにより、前年同月より30～70%の大幅な伸びが見られ好調である。</li> </ul>
サービス業	クリーニング業	→		→	→	↘	→		→	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
	飲食業	↗		↗	→	↗	→		→	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール類の注文が増えている。</li> </ul>
	建築設計業	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
	自動車整備業	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の自動車新車新規登録・届出台数は、前年同月比で16ヵ月連続で増加しているが、コロナ禍前の状況には戻っていない。材料や部品の供給不足による生産調整の影響は着実に縮小しているものの、現状の受注残を大きく解消するだけの生産体制の構築は依然として厳しい状態である。</li> <li>・受注残の解消後は、ウクライナ情勢、為替市場、物価高騰などの状況によっては、自動車の車両価格が更に値上がりすることとなり、購買意欲が薄れ、新車販売台数の減少となることが予想される。</li> <li>・自動車整備事業者においては、自動車部品、油脂類、機械工具類等全てのものが価格上昇しており、自社努力では対応しきれず苦慮している。</li> <li>・また、先進安全技術に係る特定整備制度の創設、自動車検査証の電子化、OBDを活用した自動車検査制度など、多くの制度改正に対応することを求められ、更に、新技術への対応、生産性向上、健全な経営の徹底、少子高齢化社会における自動車整備士の人材不足等の課題も抱えており、対応できない事業者は扱える車種が加速度的に減少していく状況である。</li> </ul>
建設業	鉄骨・鉄筋工事	↘		↘	→	↘	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手鉄骨加工業者は、図面承認の遅れ、建設コストの急騰、技術者の不足、働き方改革などによって、需要が多いにもかかわらず、加工能力の限界がきている。</li> <li>・中小鉄骨加工業者は、工場稼働率に多少開きはあるものの、工場に空きがある加工業者は少ない。</li> <li>・延期や見直しとなった物件は、大型物件よりも中小物件が断然多い。今後の需要については期待が持てるため、絶対に安値受注をしてはならない。</li> </ul>
	一般土木建築工事	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
	管工事業	→		→	→	→	→		↘	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景況に変化はない。</li> <li>・12月議会で、年度末からの切れ目のない工事発注の確保や、水道管工事での債務負担行為補正予算の確保を各自治体に要望している。</li> </ul>
	電気工事業	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅関連は、新築の着工件数が減少、リフォームも減少している。</li> <li>・企業の設備投資や配電線工事は横ばいである。</li> <li>・電線類は品薄状態で一部供給不足であり、これから能登半島地震の復旧が始まると、更に不足、高騰が予想される。</li> </ul>
運輸業	道路貨物運送	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽油価格について、前年同月比+4円/ℓと依然として高値で推移している。</li> <li>・物流の2024年問題の対策として、各荷主に運賃改定及び高速道路利用料金の負担について要望書を提出しているが、まだ結論は出ておらず、継続協議中である。</li> </ul>
	道路貨物運送	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料価格について、前年同月比+5.4円/ℓと高値となっている。</li> <li>・荷動きは、前年同月比97.7%と前年割れとなっているが持ち直し傾向である。</li> <li>・入り込みの車が相変わらず少ない。</li> </ul>